

島浦と海産物をPR

宮崎市

レストランでイベント

延岡市の島浦田漁業株
継者部(西口良輔部長)
による食のイベント「島
浦FISHバル」がこの
ほど、宮崎市内の飲食店
であり、来場者は新鮮な
海の幸を満喫した。
島浦町の存在と地元海

産物を広く知つてもらお
うと、国の離島漁業再生
支援交付金を活用し、初
開催の3月に続いて開



島浦の海産物を使った料理を楽しむ参加者

催。和洋中約30種類を調理し、バーベキュー形式で提供した。

ヒオウギ貝のパエリアやマダイの塩焼き、シマアジのたたき、あげみや、カンパチの大葉しゃぶ、など、大葉のタラバガニ、メジナの冷しあら、など、韓国みそ巻き、タイの冷や汁など、工夫を凝らしたメニューがずらり。今が旬の巻き貝は、島浦の海水で煮るなどござつた。

用意した50席は完売。宮崎市内から友人グループで参加した50代女性は、「刺し身は新鮮だし、こ

んな立派なキビナゴは久しぶり。全部おいしくて魚好きにはたまりません。ぜひ、島浦にも行きたい」と喜んだ。

後継者部の漁師も参加し、映像を交えながら巻き網漁や養殖の苦労話、だいご味などを紹介。西

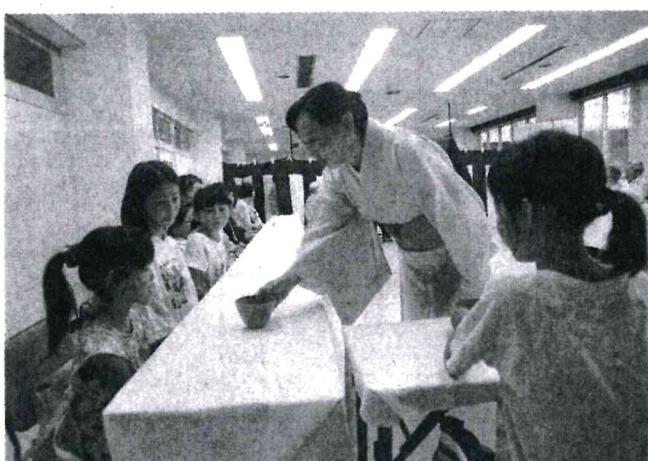
口部長は「企画に当たり、思つていい以上に島浦の認知度が低いのを感じました。ですが、前回に続いて満席で反響が大き

く、絶対にやって良かったと思ひます。少しずつでも島浦を知つてもらえた」と期待を寄せた。

夏のひとときゆつたりと

延岡茶道連盟(渡邊正会長)の「夏の茶会」は

延岡市社会教育センターであった。加盟す



穏やかな雰囲気の中で行われた夏の茶会

る表千家、裏千家の流派の会員らがおもてなし。

来場者は器をめでたりしながら、夏のひとときをゆつたりと楽しんでいた。

1階の大会議室には表千家の立札席をしつらえ、2階の和室では裏千家が接待。来場者が席に着くと、会員が丁寧にあいさつし、季節に合わせ趣向を凝らして選び抜いた茶菓子や掛け軸、

茶器などについて説明

した。

会場には大勢の人があり、茶姿などで訪れ、お茶が運ばれてくると、真心のこもった会員らの応対に感謝。

茶道教室に通う東海小6年の渡部陽菜さんは「ほかの人たてていて勉強になり、大変おいしくいただきました」と話した。

平成30年度

会長「亀井」を発行

題字は学習院長・内藤政武氏

内藤家顕彰会

内藤家顕彰会(大崎清)

会長)は平成30年度の会

誌「亀井」を発行した。

古道遙で内藤家12代の
政韶公、16代政挙公、挙

母内藤家10代政恒公の考

古道遙

内藤家の功績に考古学へ
の貢献を加えるべきと提

言している。大崎会長は
ほかに「野口遵翁75回忌
こぼれ話」なども出稿し

ている。

彦さんは「学長から見た
延岡」と題し、着任して

延岡

と題して、着任して

延岡

考古学との関わりを書き、

内藤家の功績に考古学へ

の貢献を加えるべきと提

言している。大崎会長は

ほかに「野口遵翁75回忌
こぼれ話」なども出稿し

ている。

元九州大学長の和田明

彦さんは「学長から見た
延岡」と題し、着任して

延岡

と題して、着任して

延岡

考古学との関わりを書き、

内藤家の功績に考古学へ

の貢献を加えるべきと提

言している。大崎会長は

ほかに「野口遵翁75回忌
こぼれ話」なども出稿し

ている。

元九州大学長の和田明

彦さんは「学長から見た
延岡」と題し、着任して

延岡

と題して、着任して

延岡

考古学との関わりを書き、

内藤家の功績に考古学へ

の貢献を加えるべきと提

言している。大崎会長は

ほかに「野口遵翁75回忌
こぼれ話」なども出稿し

ている。

元九州大学長の和田明

彦さんは「学長から見た
延岡」と題し、着任して

延岡

と題して、着任して

延岡

糸く今年も延商会にぎわう

延岡商業高校同窓会
350人集う



「かんぱーい」。350人が集った延商会

延岡商業高校同窓会は7
第97回延商会は7
日、延岡市川原崎町の
ガーデンベルズ延岡で
開かれた。「糸く君だけ
のためのensyo」
のテーマの下、350
校時代の写真集を上
務めた。

オープニングには高
校時代の写真集を上
映。大久保次郎会長(同
11回卒)は、香川哲さん
(同5回卒)が昨年母校
に寄贈した部活支援バ
スが大事に使われてい
ることを報告するととも
に、3年後の同校100周年に向けて「盛
大に祝いたいのでご支
援ご協力を」と呼び掛けた。

関西支部の熊本國勝
会長(同1回卒)は、同13
回以降の関西在住卒業
生の情報提供を呼び掛け、山口博範校長(高千
穂高校出身)は同窓会の
母校への協力に感謝。山
本一丸副市長が市長の
祝辞を代読した。

その後、ビジネス学
部の一環でオンライン
ショッピングモール
「延商まなびや」を経営

している現役の経営情
報科3年生が、同モール
の利用手順を説明し
て「延商まなびやを利
用してください」とア
ピール。出席者は大きな
拍手で後輩たちにエネル
ギーを送った。

同高は大正10年、東
臼杵郡立延岡商業学校
として開校。県に移管、
戦時に工業学校へ切り
替えられ、その後岡
富高校、恒富高校、向洋
高校に統合された歴史
を経て昭和33年に独立
した。同36年3月卒業
生が新制1回生。



楽しく過ごす出席者